

2019年5月30日
日本船主協会 企画部広報室

「バリシップ 2019」にて日本船主協会セミナーを実施

当協会は、外航海運の概要、海運の重要性および環境問題への取り組みについて一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力を入れております。

今般、愛媛県今治市で開催された国際海事展「バリシップ 2019」の会場にて、5月24日（金）に、「海運業界の挑戦～地球・海洋環境の保全に向けて～」と題したセミナーを実施しました。同セミナーは、昨年9月に当協会が発行したパンフレットに沿って、2020年以降に強化される燃料油硫黄分（SOx）規制の強化等にも触れながら、海運業界の抱える課題や環境保全への取り組み等を、海運や環境問題に馴染みのない方にも分かりやすく解説することを目的として、当協会大森彰常務理事が講師となって実施しました。

同セミナーでは、海運が日本経済において重要な役割を担っていることを冒頭で紹介した後、環境問題とりわけ SOx 規制に対する取り組みについて詳細な説明があり、社会全体の未来を守るためには、環境対策全般において広く一般の方々のご理解をいただき各業界が一丸となって対応していくことが重要であるとのメッセージで締めくくられました。当日は、製造、物流、教育、金融等の関係業界や官公庁等から約70名が参加し、講演に熱心に耳を傾け、メモを取る参加者の姿が多く見られました。

また、展示会場では当協会会員船主等がブースを出展し、外航海運の重要性を伝えるとともに、海運を身近に感じてもらうべくPR活動を行いました。

当協会は、引き続き皆様の日々の暮らしを支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。



▲セミナーの様子



▲当協会会員船主等出展ブース